

○5番 竹内 利一君

通告に従いまして質問させていただきます。

まず最初に、鞍手インターチェンジ周辺開発についてということで進捗状況はどうなっているのかお聞きします。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

現在の進捗状況につきましては、地域振興課長に答弁させます。

○議長 星 正彦君

地域振興課長。

○地域振興課長 立石 一夫君

鞍手インターチェンジ周辺開発の進捗状況につきましては、本年6月定例会の行政報告及び全員協議会におきましてご報告をさせていただいておりますので、その後の進捗状況について説明をいたします。

時系列で申しますと、6月～8月にかけてまして事業予定地に存在する高ノ口墓地の地権者への移転説明、そしてこれが合意がなされております。

7月～8月にかけてまして高ノ口墓地改装のための現地及び移設先用地の樹木等の伐採を行っております。

7月～11月にかけてまして開発エリア以外の農地にかかる水利関係者との協議、合意を行っております。

それから9月上旬に開発に係る地権者同意説明会を開催しております。これは開発許可等申請にかかる最終的な同意をここでいただいております。

9月中旬には農地及び町有地を除く山林等の買収、名義変更が完了いたしております。

9月中旬～11月中旬にかけてまして高ノ口墓地移設先用地の造成及び改葬が完了いたしております。

12月に入りまして現在高ノ口墓地内における無縁墳墓の調査、これは今の土の表土の方ですが、1メートルぐらい剥いて遺骨がないかどうかの調査を行っております。

このような進捗状況でございます。

また、開発に向けた町及び県の担当部署と協議は随時を行っており、現在、12月20日締め農地法に基づく農地転用に向けて申請書を作成中であると聞いております。

なお、併せて都市計画法に基づく開発申請及び森林法に基づく林地開発申請も同時期に提出する予定と聞いております。以上です。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

私が聞きたいのは、今の説明もいいのですが、ちょっと小耳に挟んだのは物流が来ると

いう話しをお聞きしていますが、そういうのは入っていますか。

○議長 星 正彦君

地域振興課長。

○地域振興課長 立石 一夫君

進出する企業はといのは、今回の申請に当たりましては開発事業主体であります鞍手開発、合同会社の方が自ら造成し建物を建てる、それは物流用の建物というふうなことで申請されると聞いております。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

何でそうなるのか良く分からないのですが、インターチェンジ周辺開発というのは、鞍手町のメインの事業でもあると思います。メインの事業で当初から物流とかが来ても開発にならないと。要は人も雇えない、人が来ない、そういう物流になったら駄目ではないかという話を前にもしたと思います。

民間が開発するのですから民間というのは当然買って、売って、儲ける、だから鞍手町全体のことを考えるわけではないのです。民間は自分が儲ければいいという考えしかないわけです。だから鞍手町の全体のことを考えて物流でいいのですか。そこは町長にお願いします。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

貴重なご意見ありがとうございます。

竹内議員が言われるのは本当に私も痛いほどよく分かります。

今、内の立石課長が申しましたように、鞍手開発の合同会社が今そこを開発されております。何度も代表の方がお見えになって私共も何度も話をさせていただきました。

要望としては、私としては出来る限り工事においても町内業者をなるべく使って下さいとか、出来れば鳥栖にある「アウトレット」みたいな、ああいったものが来たらいいいですねと、そうすると雇用も促進なるし、そしていろいろな各地方からも沢山の方が鞍手にお見えになるから、そういうのが助かりますけれどもというお願いは重々いたしておるところでございます。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

町長はそういうふうなお願いはされているのですが、これは民間に全部任せるからこうになってしまうのです。私は何故行政も中に山が1つあるだけで、はっきりいって民間開発ですから口が出せない。これは言い方が悪いのですが病院と違うのですから、民間に

対してはもうちょっと強く言って、違う業種を持って来て貰うなり、なんなりしないと、あそこに物流が出来たら鞍手町は終わりですよ、はっきり言って。

あれだけの広さでインターを下りたら物流かで終わりなんです。ですからもうちょっとどンドン営業をしていただきたいと、これは本来町がもう少し絡んで、これでなければ駄目とかというふうに言える立場までなっておけばいいのですが、あくまで土地が中にあるというだけで、あまり口が出せないというのがあるものでそうなっていると思いますが、その辺はどうこれからされますか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

町として、町の雇用や活性化に貢献出来るような企業の進出を当然私も望んでおります。但し事業主体である鞍手開発の合同会社は同様で、鞍手開発の方もそういう意味においては行政とは同じベクトルの向きを向いているのですね。

先だって町村会の勉強会があった時に小川知事がお見えになりまして、懇親会も丁度私の横にお座りになられてのですが、その時に知事が「あそこはどうなりよるね」と逆に私にお尋ねになられまして、「知事、何とかあこは私としては」、先程言いましたように「アウトレット的な、まずはキーテナントとなる大きな何かが、人が集まるような何かそういうものは出来ませんか」と言ったら、知事がそうなりますと県の開発行為に掛かなくてはいけないということに、言うなれば大店法に準じた開発をやっていかななくてはいけないということで、「どうなんでか」と私は知事にいいましたら、知事が「ちょっと時間がかかるでしょうね」という話でした。これは名実に話したことをそのままお話をしたのです。

ですから、おそらく今開発されています合同開発の代表者の方も、その辺のところをびみょうないたし返しの部分があるのではないかとそのように思っております。ですけれども最終的には町有地は売買で所有権を移転することになります。当然町民の土地がありますので、その際には財産の処分について進出企業等の情報を含めて議会に当然のことながらお諮りするということになろうかと思えます。

本当に竹内議員がおっしゃっていることは痛いほど重々心得てもおるし分かっております。まだまだ空白地でありますので、これからもそういう部分においてはしっかりと先方さんと取組を一緒にやって、そして先程いいましたような何かキーテナント。

もう一つ、先ずあその手前の方には商業施設で物流が来て、最終的には後の方の、お寿司屋さんの後の向こうまでも買いましたよという話しも、だからあの辺の後の方まで合同開発さんが取得されたという話は伺っています。

町長、こんどオリンピックがあるから、そういうオリンピックの何かもいろいろ橋本聖子さんと一緒に考えよると、またランドマークになるような何階建てか分かりませんが、タワーマンションですか、ランドマークになるようなタワーマンションなんかも考えていますというようなことは伺っています。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

小川知事にそういう話をされたと言われましたが、とにかくこういう時こそ政治力を使って下さい。

次に行きます。

今後の公共事業についてということで、くらて病院、新庁舎は建設予定であるが、今後の見通しはということですが、平成32年度末までに病院新築、同じ時期に庁舎の新築と、前回の9月の議会でも私は言いましたが、こんな小さな町、年間予算70億程度の町でここ数年で100億ほどの公共事業を行おうとしています。こんな時に何が起るかと考えますと、これは4番議員の宇田川議員が病院に絡む利権がどうのこうのと。

言われていないのですね。質問される予定でしたので。していないからすみません。

100億ほどの公共事業が起る、こういう時に何が起るかと言いますと、やはり利権に絡んだことが起るのではないかと、過去に遡れば20数年前に当時の町長さんが収賄でお縄になりました。

こういうことが過去にありましたので、先程もそういうことがないようにということで私は思っております。

これは四方山話で耳に入ってきたのですが、ある鞍手町の社長さんから、こんな大きな事業が行われるときには全国からいろいろな業者の人が「鞍手町の事業に入り込むには誰に頼ったらいいと」、というような問合せがあると業者さんに、私はそんなことを聞いて、そんなことがあるのですかということちょっとお聞きしましたが、これは四方山話です。

町長はそんなことはあります。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

今その話を聞いて私もびっくりしました。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

これはあくまでもそういう話があるということで、ちょっと危なかしいなと思っているので私はこの場で言わせていただきました。

何でこんなことを聞くかという、一つは病院問題が新聞報道になった9月の時点、ある町の町長さんから「くらて病院はどうなっているのかね」と聞かれました。

その時の会話の中でその町長さんが言われたのは、新聞報道を見る限りでは町長が人事に拘わって自分が何か儲けようとしているのではないかというような、そんなふう捉えられるような記事だったということですね。

「そんなことをする人かね」と聞かれましたので、「それはお金を持っているのではないのですか」とい話をしました。これも四方山話です。

「徳島町長がそんなことをするわけないものね」と、そういうことを言われました。これは、これからここ数年大きなお金が動くだけに、もの凄く気を付けていかなければいけないと私は思っております。

それで、一つは透明性の確保のためにも電子入札とか、そういうものを取り入れたらどうなのかというようなことも考えていますが、そういうことはどうなんでしょうか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

正直言いまして入札の委員会は副町長が代表で入っていますし、僕は入札には殆どタッチしていないのです。

○議長 星 正彦君

副町長。

○副町長 阿部 哲君

これは入札の透明性ということでございますが、電子入札が透明性があるかということになると、電子入札したから透明性が確保出来たということにはならないのかなと思っておりますが、そうは言いながらこういった大きなお金が動くということで、例えば、入札になった、こういった入札になるかまだ分かりませんが、そういった不正のないような形で進めて行くというのが基本であろうというふうに思っております。以上です。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

とにかくそういうことに気を付けて下さい。

新庁舎建設予定の今後の見通しということで、この調子でいくと32年度末に間に合うのかどうかということをお聞きします。

○議長 星 正彦君

総務課長。

○総務課長 藤原 光徳君

庁舎に関しましては予定どおり32年度末、これは国の財政措置がありますのでスケジュールどおり32年度末に建設出来るように進んで行きたいと考えております。以上です。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

病院の方はどうですか。

○議長 星 正彦君

政策推進課長。

○政策推進課長 三戸 公則君

先程も岡崎議員のところでもご答弁がありましたように、基本的にはくらはて病院の立替につきましては、まずやはり医師の確保ということが前提になります。この医師の確保の見通しが立つのであれば、残された時間の中でこの立替は進められるというふうに思います。以上です。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

是非両方とも32年度末までに間に合うように、庁舎は問題ないとしても病院はとにかく正常化、今回嘆願書が出て先ず病院の存続を私達は考えています。今回も特別委員会でいろいろありましたけれども、私が言われたのは、「あんた達は議会で何をしているのか」と、「何で下手人捜しばかりでなくて存続を何でちゃんと話をしないか」ということを、よく意見を言われまして、私もとにかく今回河野理事長が一生懸命頑張っておられますので、全部一任をし、議会としても全員でなくとも、本当なら全員がいいのですが、是非河野先生、病院の方と話をし、やはりよろしくお願ひしますというようなことを議会としてもしたらいいのではないかなと私は思います。

町長も誠心誠意新理事長にお願ひをし、病院の方々にお願ひをし、医師の招聘も上手く行くように、32年度末に病院が新しいものが完成するように努力していただきたいと思いますが、如何でしょうか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

貴重なご意見ありがとうございます。

行政としては窓口が当然のことながら病院サイドの窓口といたしましては、河野理事長さんを筆頭に理事会ということになります。

何回か病院の方にもお願ひにも行きました、先程も申しましたように30日は逆にお越しになりました。理事会の皆さん方と河野理事長を筆頭にですね。

その中においてもしっかり河野先生ととにかくお願ひいたしますということでお願ひをし、一緒にやりましょうということで、行政としては応援をさせて貰いますということもきちんと話をさせて、今は本当に河野理事長も行政、つまり私を含めて行政、そして担当、全てにおいて病院の理事会、河野先生を筆頭に理事会とは良好な関係であり、そして新病院建設に向けて頑張るということで、河野理事長が本当に心底おっしやいました。

私としてもそれを真摯に受け止めて、役場としてはしっかり支えて行き、応援し行きたいとそうように考えております。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

**○5番 竹内 利一君**

最後にインターチェンジ開発にしろ、病院、庁舎、どちらも建てるにしろ、今後の鞍手町の20年、30年、50年後を見越していかなければいけないので、とにかく頑張っ役場の職員の皆さんも悪い話があってもはね除けて、これは今新聞でリニヤーカーでいろいろ問題になっていますので、当然役場の職員の方も気を付けていただきたいと。

とにかく全ての事業に関してベストを尽くしていただいて、良い物を作っていただきたいと、そのように願っています。よろしく願いいたします。

**○議長 星 正彦君**

以上で竹内利一君の質問を終了します。

最後に申し上げます。

先程、宇田川議員の質問の時に調査特別委員会の議事録等をもらえなかったという町長の答弁がありました。

誤解のないようにしたいと思いますが、調査特別委員会の議事録は何方が来られても閲覧出来るようになっておりますので、資料提供を議会事務局が阻んだということはありませんので誤解のないように申し添えておきたいと思ひます。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

散会 15時39分